

教育学に加え、心理学を深く学ぶことで、
子どもの発達や心の仕組み、カウンセリングに関する知識に
基づいた実践力を身につけた先生をめざします。

取得できる資格

小学校教員免許／学校図書館司書／
認定心理士申請資格

どんな授業があるのか？（専修所属教員の担当授業）

・教育相談の理論と方法（３年生）



会沢 信彦 教授

学校におけるカウンセリングの役割を考えるとともに、不登校、いじめ、児童虐待など、学校におけるさまざまな問題に対して、教師としてどう理解し、どのように対応するかを学びます。この科目を通して、子どもに対して適切な支援のできる教師を目指します。



教育心理学研究法の授業風景

・教育心理学研究法（３年生）

この授業では、心理学の研究法である、観察法・面接法・質問紙法について、実践を通して学びます。面接法・質問紙法では、学生自身がテーマを決めて、実際に調査、分析、レポート作成を行います。研究者としての視点を育てることは、学校現場で先生として働く際にも力になるでしょう。



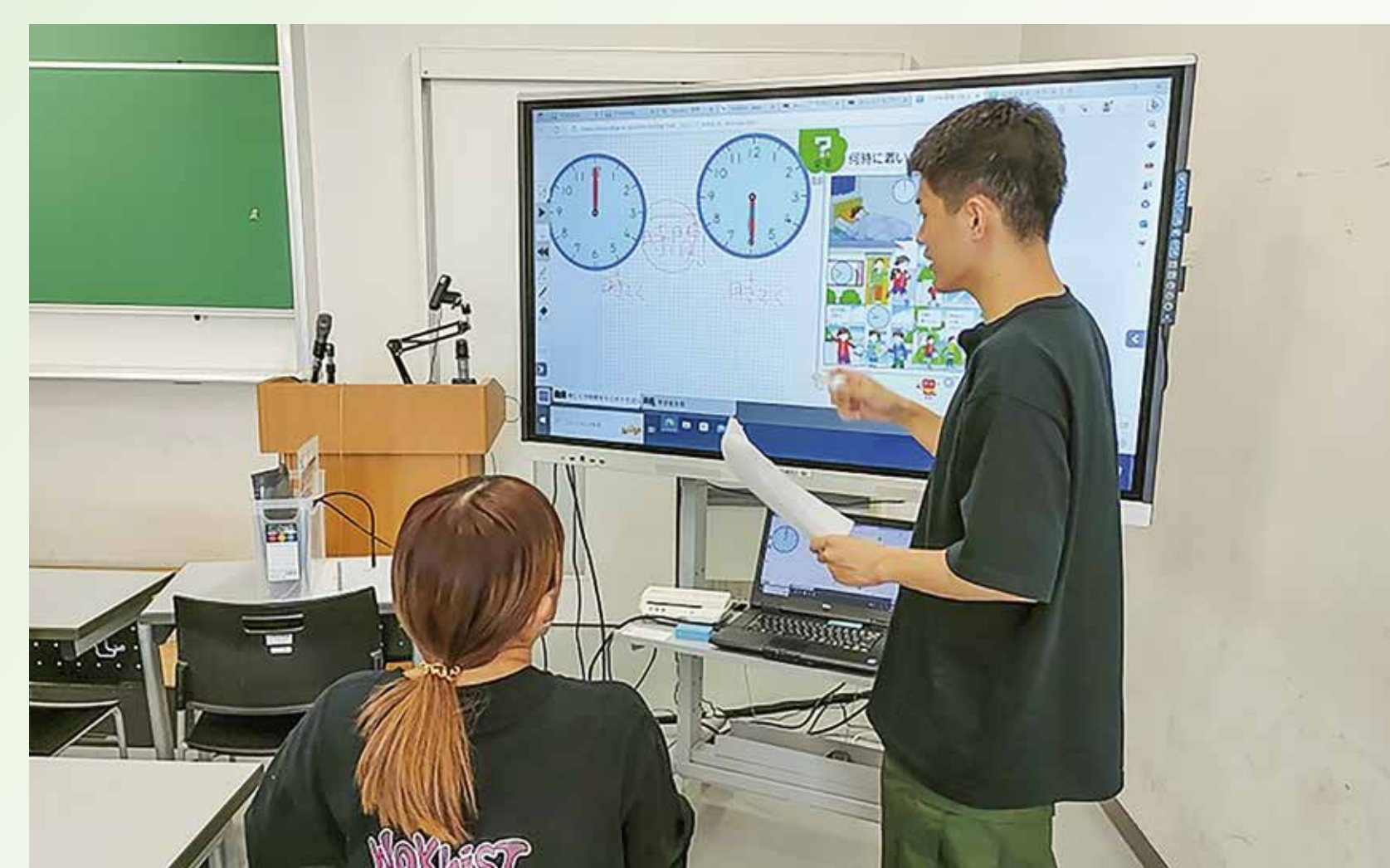
桑原 千明 准教授

・算数科教育（２年生）



清水 邦彦 准教授

算数科教育では、小学校算数科の指導内容及び指導方法等について学んでいきます。写真は、電子黒板とデジタル教科書を活用して模擬授業の練習をしている様子です。学生たちは、よい教師を目指して、子どもたちの豊かな学びのために一生懸命学んでいます。



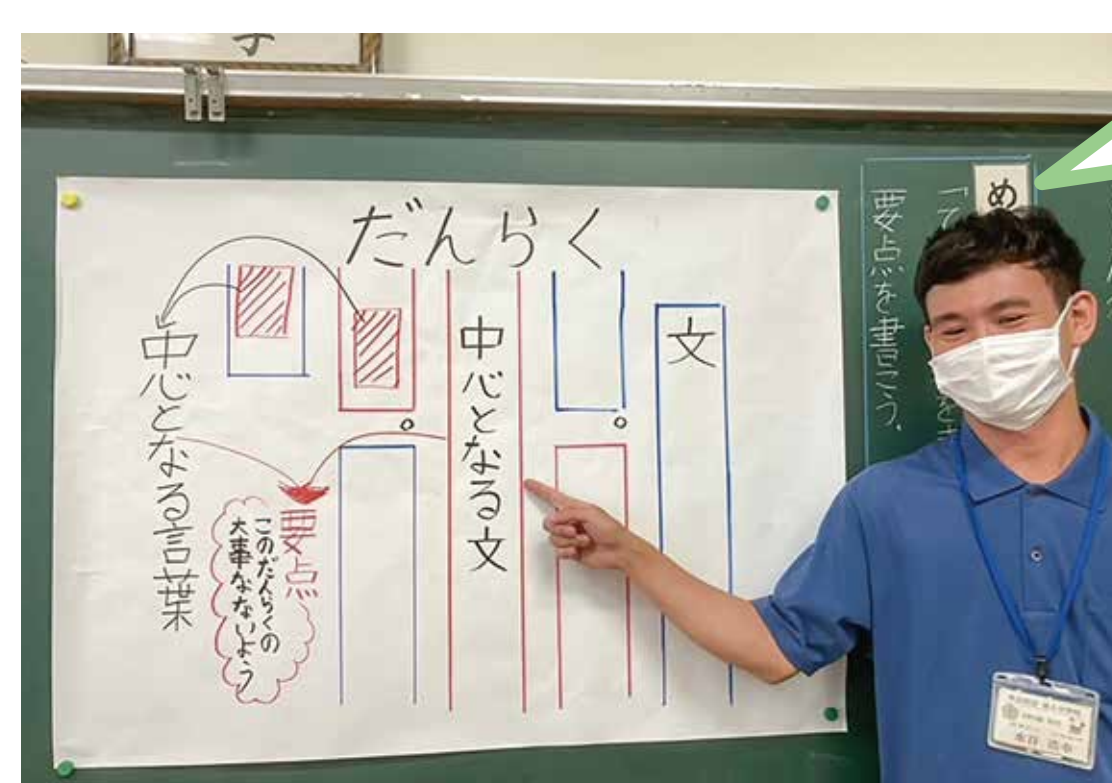
・体育科教育法（２年生）

４年生になると教育実習で実際に授業を行います。その前段階として、この授業では主に小学校体育の指導法について学びます。指導法を学ぶにあたっては、同級生（大学生）を小学生役に見立て、教師として授業を行う「模擬授業」が中心になります。



小林 稔 教授

先輩の声



児童心理教育専修では、教員として必要な知識や授業のやり方以外にも子どもへの対応の仕方など、実践で役に立つ事柄を仲間と共にグループワークや演習を通して身につけることができます。教員となった今でも、大学で学んだことは、常に選択肢の一つとして自分の力になっています。
（2020年卒業 足立区小学校勤務）



一人ひとりの個性を伸ばす場面では、大学で学んだ心理学が大いに役立っています。加えて、児童心理教育専修での学びを日常の実践で生かすよう心がけています。
（2024年卒業 千葉県小学校勤務）



☆専修のHP☆

児童心理教育専修の日々の様子(写真)を公開しています。